



限界突破

— 最高の仲間と最高の瞬間を —



5月23日（土）、晴天の下、西川小学校大運動会を開催しました。

今年度のスローガンは「限界突破 —最高の仲間と最高の瞬間を—」。

「自分たちの手で創る運動会」に向け、「こういう運動会にしたい」という思いをスローガンに込め、高学年が中心となって競技種目について話し合ったり、係ごとの活動を展開したりしてきました。

当日は、両組とも力強い応援を背に、最後まで熱戦を繰り広げました。

結果は、優勝「赤組」、準優勝「白組」、応援賞「白組」。最後は、両組の組頭と応援団長を中心に、お互いの健闘を讃え合いました。

温かい声援で子どもたちを後押しして下さったご来賓の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。また、PTA役員の皆様には早朝からの準備や運営、後片付けにご協力いただき感謝申し上げます。



両組頭の力強い挨拶

子どもが自ら考え、「やりたい」を実現する運動会



昨年度に引き続き、「やりたいことを自分たちの手で創り出すこと」へチャレンジした運動会。スローガンには「仲間と一緒に助け合い、協力したい」「あきらめないで挑戦したい」「最高の運動会にしたい」という思いが込められました。

競技種目についても話し合い、昨年度の経験を生かしながらルールや約束事を自分たちで確認してきました。また、下学年種目のネーミングについては、3年生が1・2年生にアンケートを取って決めていきました。上学年種目については、やりたかった「全員リレー」と「綱引き」をどんな内容で進めるか、アイデアを出し合って納得できるものに仕上げていきました。

さらに、「なかよし班」（縦割り班）を母体にして組分けしたことで、上級生が下級生をまとめていこうとする姿や、下級生が上級生に協力しようとする姿が随所に見られました。

子どもの力を信じ、子どもの手に委ねることで、子どもは自分事として前向きに取り組もうとします。そういう経験の積み重ねによって、「もっとこうしたい」「次はこうしたい」という主体的な姿につながります。今回の運動会での育ちが、今後の子どもたちの成長にどのようにつながっていくのか、とても楽しみです。



Jリーガーと夢を語り合う ―モンテディオ山形夢クラス―



5月20日（水）、モンテディオ山形の社会貢献活動「夢クラス」を行い、6年生がJリーガーと交流しました。昨年度、子どもからの要望を受けて本事業に応募したところ当選し、憧れのJリーガーとの交流が実現しました。今年度は、教員の声をもとに応募し、またまた当選。2年続けての開催となりました。

この日、本校を訪れたのは、背番号23番・田中選手と、背番号24番・平賀選手。

最初は、両選手とサッカーの「ミニゲーム」を行い、Jリーガーの技やスピードを間近で体感しました。遠慮がちに動いていた子どもたちは、徐々に選手のボールを積極的に奪いにいき、豪快にシュートを決めるシーンもありました。両選手とも手加減なしでゲームを楽しみ、体育館に笑顔が広がりました。

このあとは、子どもたちを代表して、3名が将来の夢（「シェフ」「米農家と美容師」「プロサッカー選手」）を発表しました。選手からも子どもたちへメッセージをいただき、夢をもつことのすばらしさや夢に向かって努力し続けることの大切さを学ぶことができました。

【田中選手】

自分がやりたいことに対して努力することは、かっこいい尊敬できること。
夢を持っていること、自分がやっていることに自信をもって貰ってほしい。



【平賀選手】

僕は、サッカーをやり続けることで夢が生まれた。
好きなことをやり続けるというのはすごく大切なこと。僕もまだ夢の途中。一緒にがんばろう。



気づき、考え、実行する – 青少年赤十字加盟登録式 –

5月27日（水）、県赤十字社より推進員の方をお招きし、青少年赤十字（JRC）加盟登録式を行いました。

新たにJRCの一員となる1年生にワッペンが配られた後、JRCの活動目的や活動内容についてのお話を聞きました。本校で取り組んでいるあいさつ運動や、アルミ缶回収、台湾の小学校との交流などを取り上げて説明していただいたことで、これらの活動がどんなことにつながっていくのか、理解することができました。

JRCで大切にしている考え方は「気づき、考え、実行する」ということ。今後の教育活動を進めるにあたり、この考え方を意識して取り組んでいきたいと考えています。



体ストレッチワンポイントアドバイス①

皆さんの未来の健康は、「今」の積み重ねで大きく変わります。自分の体は自分でととのえ、様々なことにチャレンジできる健康でたくましい体をつくっていきましょう。

★歩行やランニング（走る）に関する、太ももの前の筋肉をのばしましょう！
（片脚：20～30秒間キープ！2～3セット）



バランスが取りにくい場合は、下の脚の股関節と膝関節を曲げて、安定しやすい姿勢に調節しましょう。股関節を曲げることで、腰の反りの防止にもつながります。

●注意点

体に痛みを感じたときは、運動を中止しましょう。
動きに制限がある方は、できる範囲で運動しましょう。

山形済生病院
健康増進センターめぐみ
健康運動指導士 伊藤 貢